



日本・世界の経済・財政

北海道大学法学研究科・公共政策大学院

「宮脇淳教授のニュースレター」

国と地方の財政・金融そして公共政策の面から研究。地域に足場を持ちながら今後の制度設計や地域経営のあり方等、国そして各地域の実践的課題に挑戦。

日本経済:消費者物価一段上昇

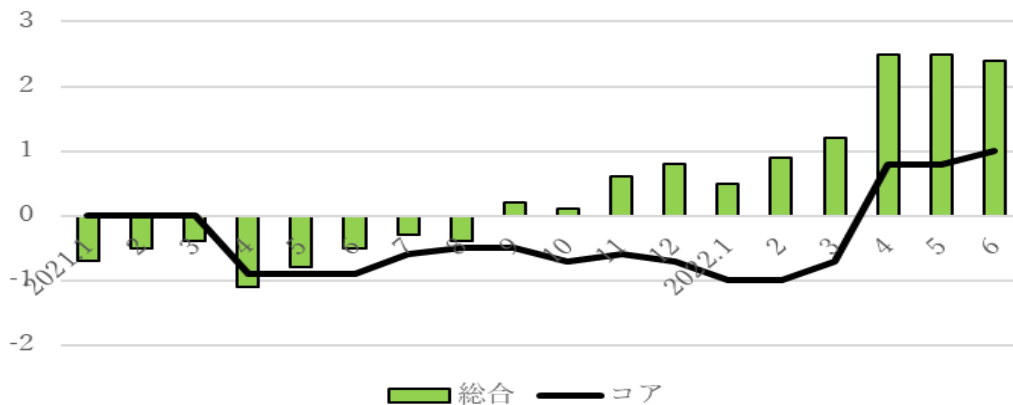
2022/08/01 第 839 号

朝日田コーポレーション

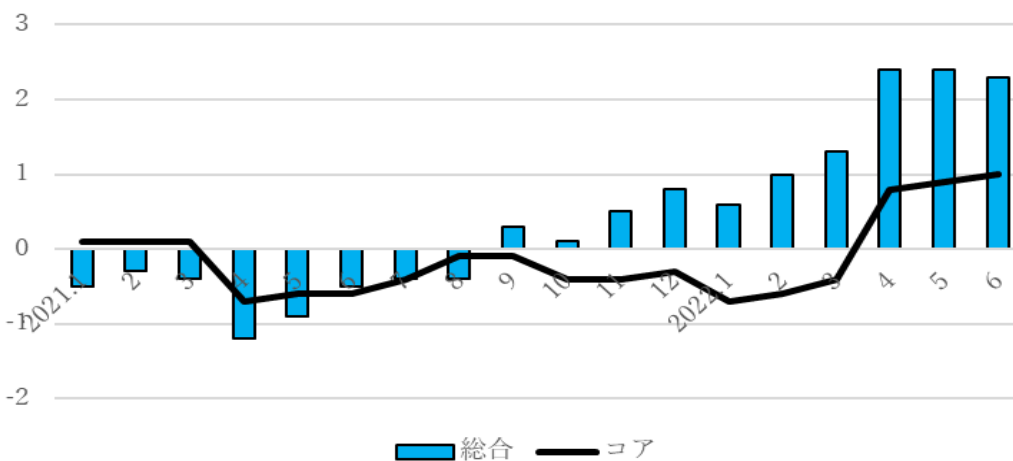
●メールアドレス: info@sapporo-php.co.jp

●ホームページ: http://www.sapporo-php.co.jp:

全国消費者物価(前年比%)



東京都区部消費者物価(前年比%)



(資料)総務省「消費者物価指数」より作成。

日本の消費者物価は、全体では依然として上昇圧力の強い状況が続いている。生鮮食品やエネルギー等価格変動の激しい品目を外したコアベースでの上昇スピードも徐々に加速しており、インフレ圧力が企業物価から一般生活の消費者物価へと急速に広がっている。7月に原油等のエネルギー価格が世界経済の減速不安から弱含んだほか、円安も一服となったことから、消費者物価の前年比は2%台前半の動きで横ばいとなっているものの、今後の商品価格の一段の上昇は避けられず、また、FRBの金利引上げによる為替への影響もあり、年後半には3%台の上昇となる可能性がある。